



1 学期終業式まであと 3 週間です。ね…

早いもので、1 学期もあと 3 週間を残すところとなりました。前号の校長室だよりでも触れましたが、来週月曜日(7 月 3 日)から、個人懇談がはじまります。この 1 学期の個人懇談は本校では今年から実施するものです。新しい学年、クラスでスタートした子どもたちが、どういった成長を遂げてこの 1 学期を終えようとしているのかを、学校とご家庭、それぞれの場面での子どもたちの「顔」を共有することで夏休みを挟んで 2 学期からの生活に役立てるために実施します。

限られた時間にはなりますが、それぞれの子どもたちについて担任の先生と率直な意見交流ができれば幸いです。大変お忙しい中、日程、時間調整にご協力いただき有難うございます。

☆☆☆勉強のお話です。よ…

各学年とも毎日、時間割にしたがって様々な教科の学習に励んでいます。いろいろな学年、クラスの授業の様子を見に行くことも多いのですが、確かにどのクラス、授業も子どもたちは一生懸命に先生の話をお聞き、ノートをとったり、先生の指示で作業をしている姿が目に入ります。この光景はたいへん素晴らしいものです。

算数の授業では、少人数担当の先生が加わり、算数教室を使って分割授業をおこなったりする場面もあります。子どもたちの表情は実に真剣です。…この子どもたちの姿を見ていて、ふと頭を過ぎったことがあります。それは、家での学習はどうなっているのかな?ということ。本校の先生たちに伺ってみると、宿題忘れや、持ち物忘れ等々、『家庭学習』に行き着く前の段階でとまっている子どももいるようです。

「宿題頑張り週間」や、日々の算数の授業でのプリントなど様々な工夫や「しかけ」を先生方が相談して取り組んでくれています。まずは、「毎日の学習習慣」をつけることからスタートです。中には、これまでは「勉強はいまひとつ面倒で…」といった様子の子が、先生の毎日の指導のお陰で、たとえ短時間でも「自分でノートを開いて勉強に向かう」ことが習慣づいてその結果、「勉強することの楽しさ(分かることの楽しさ)」を覚え、毎日、実に生きいきと教室で授業に取り組んでいる姿を見ることがありました。やはり、学習には「定着」という段階が必要であり、そのためには、最初は面倒でも、毎日、短時間であっても自分のノートに向かうという「学習習慣」を、すべての子どもたちが身につけることが最も重要であるということに改めて感じた次第です。そのためには、何と言っても、ご家庭での「ちょっとした子どもたちへの声かけ」が一番効果的に子どもたちの「やる気」を引き出すことにつながります。どうか応援してやってくださいね!



☆☆☆AAE活動犬、「レイ君」の一日。その③

校長室に入り、私が散歩に行く準備ができたところで、「レイ、行くよ。」と声をかけると、彼はサッと校長室のドアのところいき「座って」私の目を見ながら(でかける)合図を待ちます。そのあと、私と一緒に、中庭を通過して、まずは第二グラウンド(みどりんパーク)いき、その中をぐるっとまわり、その間にトイレをすませます。

それが終わると彼は今度は、東門の方へいきます。そこで、ご近所の方と会って「挨拶」をすることもあったり、ご近所の犬と「挨拶」を交わすこともあります。(レイ

君は基本的にとっても社交的で、よほどでない限り、たいていどんな犬(大きさは関係ありません)ともすぐに打ち解けてフレンドリーな関係になります。もちろん、ヒトに対してもです。)

今は、子どもたちの登校にはお出迎えはさせていませんが、近いうちに一度、お出迎えをするかもしれません。

このあと朝の始業開始(8 時 30 分)までの時間は、レイ君は校長室にいます。私が朝のメールチェックなどをしているとすぐそばで寝転がったり、彼のかばんに入れてあったタオルを自分で引っ張り出して、わざと私の視線に入るとこまでもってきて、「ひっぱりこして遊ぼう!」と誘いかけてきます。(時として私は無視をします。すると彼はさらにかばんから別のものをだしてきてアピールします)

そうこうしている間に、子どもたちが登校してくる足音や声が聞こえてきます。子どもたちの元気な楽しそうな声が廊下から聞こえてきますが、どんなに大きな声であっても彼はその声が子どもたちの声であることを理解していて決してそれにむかって吠えたりすることはありません。中には校長室のドアの横にはってある「レイ君、今日は登校しています!」と書いた看板(張り紙)をしっかり声にだして読む子どもの嬉しそうな声が聞こえてきます。※続く

To be continued (次号に続きます)